

『PCA hyper 固定資産シリーズ』

Ver.1.0 Rev.6.10プログラムでの主な機能強化・仕様変更点

主な機能強化・仕様変更点は以下の通りです。

操作等の詳細については、オンラインヘルプ、またはPDFマニュアルをご覧ください。

《新機能》

- ◇ ユーザー定義項目の設定
資産登録時に使用できるユーザー独自の項目を設定できるようになりました。
資産に入力した内容を帳票で確認したり、通知の条件としても利用できます。

《全体》

- ◇ 令和4年度税制改正対応
 - 別表十六(一)、別表十六(二)、別表十六(四)の様式変更に対応しました。
 - 別表十六(一)、別表十六(二)に追加された「前期繰越償却不足額の内書」を、「資産の登録」処理で設定できるようになりました。
 - 別表十六(四)新様式では不要となった項目は設定できないように制限をしました(終了事業年度が令和4年4月1日以降の場合)。
 - PCA法人税にエクスポートについて、税制改正後の別表十六(一)、別表十六(二)、別表十六(四)に対応しました。

※ PCA法人税はRev24.04以降の場合のみエクスポート可能となります(別表十六(四)においては、終了事業年度が令和4年4月1日以降の場合)。

- ◇ 令和4年度地方税電子申告対応
eLTaxの更改(令和4年度)に対応しました。

《ファイル》

- ◇ 期末更新
期末更新(繰越)の再更新時に、対象資産を選択できるようになりました。
- ◇ データ領域のバックアップ、データ領域の一括バックアップ、データ領域のリカバリ、データ領域の一括リカバリ
『PCA Hub eDOC』へのバックアップが可能になりました。

《資産》

- ◇ 資産の一覧入力
『PCA Hub eDOC』に対応しました。

《データ領域の更新について》

データ領域のバージョンを「5.76」に更新しました。
下記のデータを追加しました。

- ユーザー定義項目用集計区分設定
- ユーザー定義項目設定
- 資産ユーザー定義項目要素（文字列）
- 資産ユーザー定義項目要素（リンク）
- 資産ユーザー定義項目要素（数字、金額）
- 資産ユーザー定義項目要素（日付）
- 資産ユーザー定義項目要素（チェック）
- 資産ユーザー定義項目要素（集計区分）

下記のデータ構造を拡張しました。

- 資産(減価償却)
- お知らせ設定

《APIの変更について》

以下のデータ構造を拡張したため、バージョンを更新しました。

- 集計区分（バージョン「102」）
- 資産（バージョン「108」）

APIで操作できるデータに、以下を追加しました。

- ユーザー定義項目設定（バージョン「1」）
- ユーザー定義項目用集計区分設定（バージョン「1」）

《汎用データの変更について》

以下を追加しました。

- ユーザー定義項目設定

以下のデータ構造を拡張したため、バージョンを更新しました。

- 一般資産（バージョン「11」）
- 一括償却資産（バージョン「7」）
- リース資産（バージョン「12」）
- 少額資産（バージョン「8」）